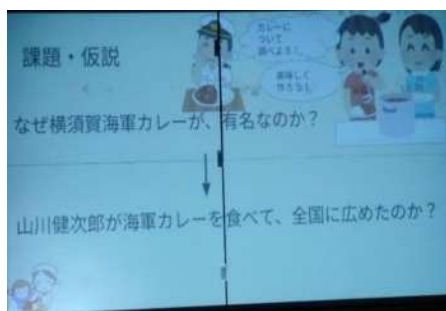


## はにい 『地域の魅力を発見→活用』 令和5年4月25日

「私たちの住む町を元気にしたい。」この中学校では、「地域を知り、地域を活性化するため、総合的な学習の時間を中心に、年間を通して、観光ゼミや国際ゼミ、歴史ゼミ等、九つのプロジェクトチームに分かれて調査研究をする様々な取組が行われています。その取組の一環として、各ゼミが調査研究をしている内容についての中間発表会が開かれました。

1年生の発表は体育館で行われました。



歴史ゼミでは、地域の名産品である『カレー』についてプレゼンテーション。「なぜ、カレーが有名になったのだろうと疑問が生まれ、カレーを食べて広めようと思った人がいるはずだと仮説を立て、調査を始めました。」「なぜ、横須賀に造船所が作られたのかについても、調査しています。」と発表しました。

2年生の発表はゼミごとに各教室に分かれ、オンラインを活用し発表が行われました。

科学ゼミでは、「身近な海である浦賀湾の海水を使って発電する方法」について考えました。まずは、担当の先生のスマートフォンを充電できる1000mAを発電することをめざし、5つの小グループが、それぞれ異なった発電法を試しました。ここで、別グループから質問「今後は新たな方法は試さず、1つの方法に絞り精度を上げていくということですか。」「はい。最も発電量が多かった鉛とマグネシウムリボンに絞って精度を上げていきたいと思います。」とグループ間での質疑応答がありました。



「『ふだんの 暮らしの しあわせ』をキーワードに、健康ゼミでは福祉について調査して



います。」「学校内にピクトグラムを用いた案内を作成したり、手話や点字についての広報を工夫したりします。」

どのゼミも、身近なことに疑問を持ち、仮説を立て、研究している内容を報告し、質疑応答を行いました。地域を大切に、地域の人々や観光との交流、自分たちが地域のためにできることをテーマに中間発表は続きます。

『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで 語り合きましょう。